

青森県立六ヶ所高等学校の概要

所在地 六ヶ所村大字倉内字笹崎 3 0 5
電 話 0 1 7 5 - 7 4 - 2 3 0 4
F A X 0 1 7 5 - 7 4 - 2 3 7 7

校 長 安 保 敏 彦
教職員数 2 6 名
生徒数 1 8 9 名

(1 学年 6 5 名、2 学年 7 0 名、3 学年 5 4 名)



【1】学校経営方針

1. 校 訓

創 造 自 律 勤 勉

2. 教育目標

- (1) 自ら進んで創造性を高め、未来のために尽くす人間を育成する。
- (2) 厳しく自らを律し、連帯して事に当たる人間を育成する。
- (3) 誠実に勤めに励み、社会の発展に寄与できる人間を育成する。

3. 学校運営の方針

- (1) 信頼を得る→教職員は、生徒・地域から信頼されるよう努力する。
- (2) 挑戦させる→生徒が遅しく育つよう、何事にも挑戦する意識の高揚を図る。
- (3) 能力を育てる→生徒の将来のため、物事をなしとげることのできる力を身に付けさせる。
- (4) 鍛える→心身ともに健康な生徒の育成を図る。

4. 指導の基本方針

- (1) 生徒一人ひとりが、自分の夢を発見し、その実現のため努力する姿勢を身に付けることができるように、生徒の心に一步踏み込んだ指導を展開する。
- (2) 諸活動を通して、生徒が「努力することによって得られる充実感と自信」を味わえる指導を展開する。

5. 指導の重点事項

- (1) 生徒の学習意欲を喚起し、自主的に学習できるよう工夫する。
- (2) 能力・適正に応じた指導と学習習慣が確立できるよう工夫する。
- (3) 進路に対する意識を啓発し、コースの特色を生かした進路指導を工夫する。
- (4) 生徒一人ひとりの個性を引き出す工夫をする。
- (5) 部活動や学校行事を通して、主体性や連帯感を喚起する工夫をする。

6. 指導の目標

(1) 学 習 指 導

- ア 生徒理解に努め、一人ひとりの能力を最大限に発揮させるため個別指導の徹底を図る。
- イ 指導法の工夫と教材の精選を図り、生徒が基礎的・基本的事項を完全に理解できる授業を目指す。
- ウ 生徒自ら学習活動に関心・興味を持ち自学自習できる習慣・態度を育てるため、家庭学習や課題学習を奨励する。
- エ 授業時数の確保に努めるとともに、授業内容の充実と学習内容の定着のために教育機器の適切な活用を図る。
- オ 多様化した生徒一人ひとりの実態を把握し、指導の充実を図るため「中学生の高等学校体験入学」・「公開授業」を実施し、地域との連携強化に努める。
- カ 成就感・達成感を得るため、各種資格取得や検定試験等への積極的受験を奨励する。

(2) 生 徒 指 導

- ア 学習指導と生徒指導は表裏一体である。生徒一人ひとりに学習の喜びを与え、学校生活の充実感と満足感を持たせるために、生徒理解に努め、温かい心の結びつきを基調とした指導に当たる。
- イ 教職員全員の共通理解・共通行動の上に立って一貫性のある指導を行う。
- ウ 時間厳守、環境の美化、容儀指導、挨拶の励行等を通して規律ある学校生活を送らせ、社会生活の基調となるものを体得させる。
- エ 生徒の健康増進を図るとともに、保健教育および安全教育の徹底を図る。
- オ 積極的に生徒と対話の機会を設け、不安や悩みについて個々の生徒の支えとなるよう心の結びつきを深める。
- カ 生徒会活動の活性化を図り、文化祭・体育祭などの諸行事を通して生徒・教師間、生徒相互間の望ましい人間関係の確立を図る。
- キ 課外活動（部活動・委員会活動・ボランティア活動）を奨励し、学校全体の活性化を図る。
- ク 家庭や関係機関・団体との連携強化を図り、生徒の健全な生活態度を養うとともに、非行の未然防止に努める。

(3) 進 路 指 導

- ア 生徒一人ひとりの能力・適性に応じた進路志望の達成を図るため、全職員の共通理解のもとに進路指導体制の強化に努める。
- イ 各自の進路目標に応じた学力を身に付けさせるとともに、上級学校進学率の向上に努める。
- ウ 進路相談や啓発的体験を通して望ましい勤労観・職業観を育成する。
- エ 進路情報の収集・整備と効果的な提供を図る。
- オ 保護者の進路意識の啓発を図る。

【2】学校概要

1. 出身中学校生徒数

出身校		泊	第一	第二	千歳	三沢 第三	横浜	東北東	その他	計
性別・学年										
男	1学年	18	5	5	3	3	0	0	3	37
	2学年	5	8	4	6	3	1	0	0	27
	3学年	5	6	7	4	0	1	0	0	23
	計	28	19	16	13	6	2	0	3	87
女	1学年	11	3	3	2	4	1	2	2	28
	2学年	10	9	13	8	1	1	1	0	43
	3学年	10	2	4	6	9	0	0	0	31
	計	31	14	20	16	14	2	3	2	102
計	1学年	29	8	8	5	7	1	1	6	65
	2学年	15	17	17	14	4	2	1	0	70
	3学年	15	8	11	10	9	1	0	0	54
	計	59	33	36	29	20	4	2	6	189

2. 部活動

運動部：硬式野球部、バレーボール部（女子）、卓球部、陸上競技部、テニス部、サッカー部、アーチェリー部

文化部：吹奏楽部、芸術部（書道・美術）、ボランティア部、パソコン部

3. 卒業生進路状況（平成21年3月卒業生）

進路区分	進路先	男	女	計	進路区分	進路先	男	女	計
進学	大学	4	1	5	就職	村内	9	9	18
	短大	1	2	3		県内	1	1	2
	公共職業訓練校	4	0	4		県外	2	5	7
	専門・各種学校	1	7	8		公務員	4	0	4
	計	10	10	20		家業従事	1	0	1
						家事手伝い	1	0	1
						計	18	15	33

□主な進学先

青森中央学院大学、八戸大学、東北工業大学、東北文化学園大学、日本大学、青森中央短期大学、八戸短期大学、修紅短期大学、青森県立八戸工科学院、青森県営農大学校、仙台医療福祉専門学校、東北文化学園専門学校

□主な就職先

日本原燃(株)、日本原燃分析(株)、(株)ジェイテック、(株)青森クリエイト、トーヨー工業(株)、(株)エーアイエス、六ヶ所原燃警備(株)、(株)むつ小川原ハビタット、(株)青森プラント、泊漁業協同組合、六ヶ所地域振興開発(株)、(株)みちのく銀行、原燃輸送(株)、葉山国際カンツリー倶楽部、青森県警察、千葉県警察、陸上自衛隊

4. 主な取り組み

(1)進路に対応するコース別授業

1年次では学習内容が共通ですが、2年次からは自分の進路に合ったコースを選択し、コース別に学習が進められます。

○普通コース：大学進学等の進路達成を目標とする普通科目に重点

○商業コース：商業系の資格を活かした進路達成を目標とする商業科目に重点

(2)わかる授業

授業が少人数で編成されているため、一人ひとりの生徒への指導が充実しており、「わかる授業」を目指します。

(3)BSタイム (Brush Up Study)

昨年度から週3回、国、数、英（3学年は小論文、一般常識）の基礎的事項について、復習・確認を行う授業を行っています。全教員が指導にあたり、自学自習に取り組む姿勢・学習に対する達成感の育成を図ります。

(4)資格取得

実用英語技能検定、ワープロ検定、情報処理検定、簿記実務検定、文書デザイン検定等の資格を取得できます。